

# 地域社会で 仲間づくり

茅ヶ崎らくらくクラブの場合



「もっと多くの人に…」そばを食べながら新しい試みを検討する



「例会をグルメの場に」という西方さん（中央）は大のそば好き。福島さんも石塚さんも舌鼓…

辻堂の手打そば金太郎で4回目例会を開きます——。昨年4月に生まれた「茅ヶ崎らくらくクラブ」。メンバーは西方保弘さん、福島弘さん、石塚智子さんの3人で、いずれもらくがき帖でお馴染みの方々です。「地域」と「ものを書く」会としてスタートしました。回を重ねるうちに「書くことにこだわり過ぎでは…」。「それぞれ自由に…」。「もっと仲間を…」という気持ちが芽生えました。それで楽しい名前に変えました。防犯や災害、そして高齢社会に「地域社会の仲間づくり」は大きな課題です。らくらくクラブの経緯を参考に仲間づくりにチャレンジしてみませんか。

## ●1年の歩み

- 1回目（4月・デニーズ）エッセイ・投稿の会として「ヴィサン茅ヶ崎らくがきクラブ」を発足。
- 2回目（7月・辻堂自然生態園）公園のベンチで例会。近況報告。石塚さん「ツバメの話」を投稿。
- 3回目（茅ヶ崎のスカイラーク）近況報告。福島さん「山登りに行った話」「向田邦子の料理を紹介」
- 4回目（2月・手打そば金太郎）西方さんⅡ自伝「自由人バードの人生」を応募リターンマッチ。福島さんⅡ生活情報誌のモニターで男の料理教室体験。読売日曜版（2月19日付）にエッセイ掲載。石塚さんⅡもう少し人数増やしたい。ウオーク、グルメ何でもありの幅広い場にしたい。▼提案・西方さんⅡ当番は自分のすすめたい店（会場）を選ぶ。グルメも楽しむフリーな会として続けたい。福島さんⅡ4月にウォーキングを実施したい。全員賛同。

## ●新しい試み「グルメ&ウォーク」

期日は4月17日（月）。ウォーキングコースは「九十九谷戸」と呼ばれた茅ヶ崎里山公園から民俗資料館（三橋家）、大岡越前の墓がある浄見寺、そしてグルメの場所は茅ヶ崎の誇る酒造元・天青の蔵元で、湘南ビールブリュワリーもある熊澤酒造。大正時代の土蔵を改装したダイニングレストランでの昼食。フリーな会としては、どちらか一方の参加も可とか。詳しくは「ヴィサン通信」に掲載する。

## ●仲間へのポイント

- 地域社会** 各地域の会が企画した催しに参加しよう
- 性格** 出会う場、親交を深めあう場、フリーな場
- 目的** 限定すると入りにくい、もっと自由に…
- 内容** 個人の好みや趣味を生かす。皆が先生であり生徒でもある。得意分野を教えあう